

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	☒ 新規 ☐ 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	☒ 現行制度の改善又は <u>拡充</u> を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの※注 ☐ その他（ ）		分野 ☐ 総務文教 ☐ 社会環境 ☒ 経済 ☐ 建設
要望先	☒ 国 ☐ 県 ☐ その他	担当省庁 担当部局 名 称	林野庁、環境省 環境部、林務部
件名	6 山の日制定を契機とした関連施策の充実について		
提案市	大町市		
提案要旨	県や国の山の日制定に伴い、戦略的な取組みが重要であることから、必要な環境整備・自然環境保全に係る事業を総合的に整理するとともに、実施に伴う規制（支障木の伐採や借地手続き等）についても関係省庁に規制緩和の要請を行うほか、申請等の手続きから許可を受けるまでの事務手続きの簡素化を求める。		
提案理由	国の「山の日」と県の「信州山の日」の制定に加え、県では、山岳や高原、美しい景観、独自の伝統・文化などの長野県の強みを活かし、世界水準の山岳高原観光地を形成に向け、県内3地区をモデル地域に指定し、世界中から誘客できる山岳観光地づくりを目指している。 当県にとって、山は大変重要な観光資源であり後世に継承しなければならない大切な資産であることから、県民をはじめ広く大勢の方に山への理解を深め、地域の貴重な資源である山に感謝し、将来にわたって山の恩恵を享受することが本来の趣旨と考える。 そのため、山岳観光の推進には、それぞれの市町村でハード事業及びソフト事業の取り組みはもとより、国や県との連携並びに支援が重要となることから、山の日制定を契機に、関連施策の一層の充実を望む。		

現況及び課題等	現在、各市町村では、山岳観光に力を入れたさまざまな取り組みを行っている。 特に、登山客利用のための駐車場確保のほかに、登山者が安全で安心して登山できるための登山道・吊橋などの整備や山小屋でのし尿処理、美化清掃活動など山岳環境整備については、責任の所在や資金の確保など多くの課題がある。 また、ライチョウや高山植物の保護など、自然環境保全の面においては、関係機関と協力して自然環境保全に努めることが重要である。 今後も、このような課題解決に向け、山小屋等の山岳関係者と情報交換を密にして、必要な環境整備・自然環境保全に係る事業を整理するとともに、実施に伴う規制についても関係省庁に規制緩和の要請を行う必要がある。 また、申請等の手続きから許可を受けるまでの事務手続きの簡素化が求められる。 【道標を設置する場合の申請関係】 ① 別地域内広告物の設置等許可申請書（長野県知事） ② 特別保護地区内建築物その他の工作物の新（改、増）築許可申請書（中部地方環境事務所） ③ 国有保安林における（土地の伐採・土地の形質変更等）に係る承諾書の交付申請書（中信森林管理署） ④ 国有保安林内立竹木の伐採等の許可申請書（地方事務所長）③の許可書必要 ⑤ 国有林野貸付申請（中信森林管理署）①②④の許可書必要 それぞれの申請から許可まで約1カ月かかるため、設置協議から施工まで半年程度の期間が必要となる。 また、国立公園内で事業を実施する場合には、開発許可の面積が定められており、面積を変更する場合には国の審議会にかける必要がある
関係法令	